

十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進委員会

地域

十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施。高層化により人口も増加傾向にある。ヒルタウンの名称のように、丘陵状の地形に計画的に整備されている。

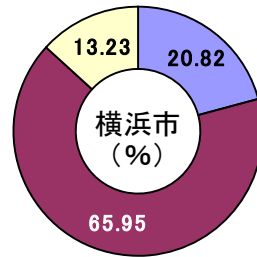
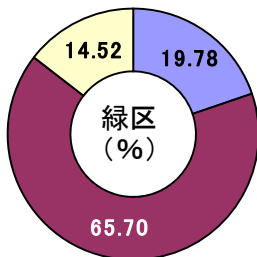
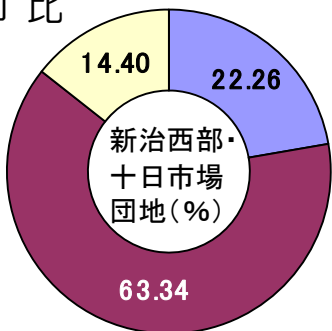
<主な関連施設>

- 最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）
- 震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校
- 地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成24年(2012年)9月末

人口比



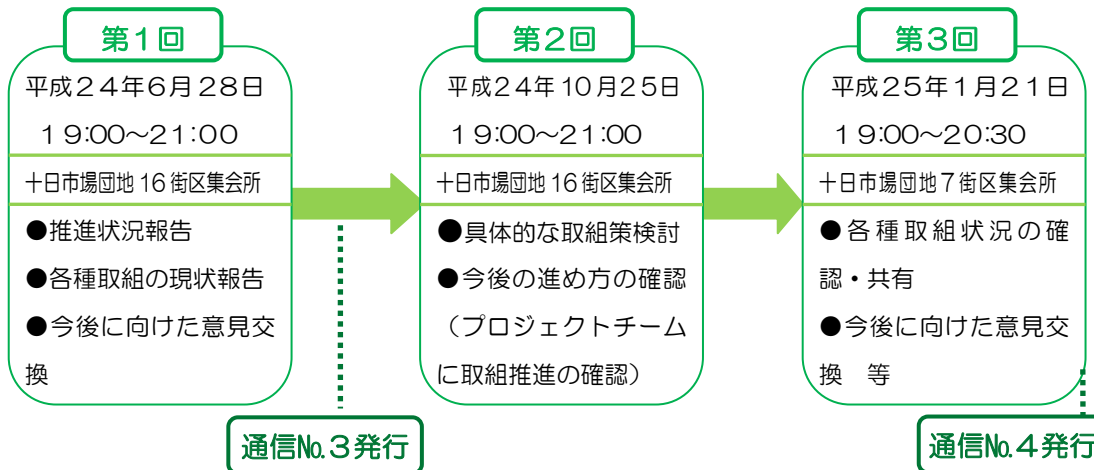
75歳～	2,175人
65～74歳	2,224人
15～64歳	12,516人
6～14歳	1,796人
0～5歳	1,049人
合計	19,760人

75歳～	15,259人
65～74歳	19,875人
15～64歳	116,732人
6～14歳	15,921人
0～5歳	9,876人
合計	177,663人

75歳～	352,985人
65～74歳	418,938人
15～64歳	2,445,039人
6～14歳	298,801人
0～5歳	191,501人
合計	3,707,264人

地区別計画推進委員会の開催状況

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。





十日市場団地地区



いつでも支えあえる 十日市場団地 を目指して

●災害時の助け合いに向けて

災害など、いざという時でも助け合えるような「地域のつながり」作りに向け、連合自治会と連携して、「レスキューシート」を購入し、「避難介助訓練」を実施しました。

これからもできるだけ多くの方がこうした訓練等を通じて、災害時の助け合いの大切さを理解していただくとともに、助ける側の人材（＝担い手）の確保につなげていきたいと考えています。



（写真：十日市場ビルタウン内での「避難介助訓練」の様子とレスキューシート）



（写真上：「十日市場団地お茶飲み会」の様子）

（写真下：「お抹茶」の準備の様子、スタッフ手作りの「和菓子」）



（写真：1回目終了後のスタッフ）

●「身近な交流の場づくり」に向けて

「新たな交流の場」づくりに向けては、プロジェクトチームを結成、「何かやらなければ始まらない！」を合い言葉に、まずは「十日市場団地 お茶飲み会」を開催することになりました。

推進委員が力を合わせて準備を進め、迎えた1回目は、30名を超える大勢の方々が参加。好きな飲物を頼み、会話も弾んで、皆さん楽しそうでした。スタッフこだわりの器、手作りの和菓子もとても好評でした。

今後も継続しながら、もっと大勢の方々に参加いただける工夫や多世代交流の場としての検討を進めていきます。

これからもさまざまな活動を通じて、地域の「つながり」をつくる大切さを共有していきます!!

十日市場団地地区別計画推進委員会



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成24年8月発行 No.3

十日市場団地地区別計画推進委員会通信

平成24年6月28日(木)十日市場ヒルタウン16街区集会所において、「平成24年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催し、みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画の推進に向け、話し合いを行いました。



★十日市場団地地区別計画推進委員会

十日市場団地地区の主な福祉保健団体などの代表18名がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

★みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

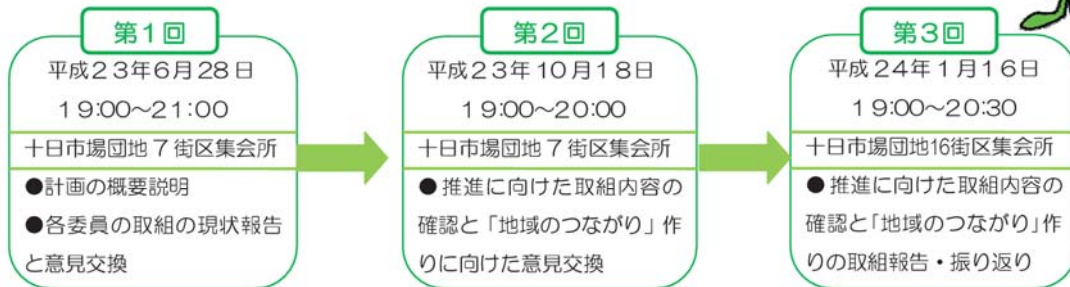
その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。十日市場団地地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「十日市場団地地区別計画」を策定しました。

十日市場団地地区 地区別計画目標

団結して地域の「つながり」を作っていこう！

平成23年度の取組状況

<地区別計画推進委員会開催状況>



<主な取組>

「地域の人がいつでも互いに支えあうことができるよう、顔の見える関係づくりをすすめていくことが重要です」

十日市場団地地区では、このような考え方から、地域で行われているさまざまな行事を通じて、「地域の『つながり』作り」に取り組みました。



「かまど」を使ったイベント

自治会の地域情報誌「住連通信」

第1回委員会の様子

【十日市場団地地区別計画推進委員】

有馬忠雄 伊藤利男 大村律子 落合良子 川隅やす子
 栗原保恵 興石勝子 高橋昇 ○野口昭紀 橋川茂子
 羽島節子 埜喬子 堀川智子 本田富男 前田正由
 宮本増穂 八木橋民夫 山口等 (五十音順、敬称略、○:委員長)



取組の現状を確認しました！

●情報共有や意見交換

当日出席された委員の皆様から、日頃の活動の様々な感想や実感を共有することから、活発な意見交換へと発展しました。

- 身近なところからあいさつをするようにしている。自治会の活動は大切。
 - 団地の掃除の活動に出てくることで、顔の見える関係づくりになっている。
 - 昼食会で食事をとり、喜んでもらえる顔を見るとうれしい。
 - 民生委員の見守りとして2人一組で訪問しているが、もっと数多くできるとよい。
 - 『住連通信』は、多くの人読んでいて地域の重要な情報源。情報共有のためにも、住連通信に大きく取り上げてもらいたい。これをきっかけに話ができる。
 - もっと自治会の人、この地区別計画推進委員会に出てもらえるとうれいではないか。
- ★他にもたくさんの意見や報告がありました。



▲6月開催の「地域課題を考える」でも“かまど”を使って地域交流♪



▲6月開催の「暮らしを守る講座」(主催:十日市場地域ケアプラザ)

孤立死防止のための安否確認をがんばっています！

- 郵便受けに新聞などがたまっていないか確認する。
- 耳の不自由な方の安否確認に役立つなどのため、音ではなく点灯するインターフォン(回転灯)の活用を検討している。
- 民生委員の訪問は継続して行っているが、住連通信等を活用して訪問希望者を募っても少ないのが現状。
- 民生委員だけでなく、地元に関する情報を最も持つ自治会ともさらに連携して孤立死対策を行っていく必要がある。

今後の取り組みについて

自治会との連携・情報共有の推進

○ 地元自治会とのさらなる連携により、情報共有を推進するとともに地区別計画の担い手を増やすことで、取組の輪を広げていきます。

プロジェクトチームによる検討！

○ プロジェクトチームを立ち上げ、イベント実施だけでなく身近な交流の場作りなどを検討しながら、幅広いつながり作りへつなげていきます。

「地域のつながり作り」に向けて
 地域で連携して、検討を進めていくことを確認しました。



次回の推進委員会は10月頃の予定です。
 団結して「地域のつながり」を作りましょう！

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
 事務局 緑区こども家庭支援課長
 TEL: 930-2431



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成25年2月発行 No.4

十日市場団地地区別計画推進委員会通信

平成25年1月21日(月)十日市場ヒルタウン7街区集会所において、「平成24年度第3回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催し、新たな委員も加え、計22名が出席。みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画の推進に向けた話し合いを行いました。



★十日市場団地地区別計画推進委員会

十日市場団地地区の主な活動団体などの代表がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン 十日市場団地地区 地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

★みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

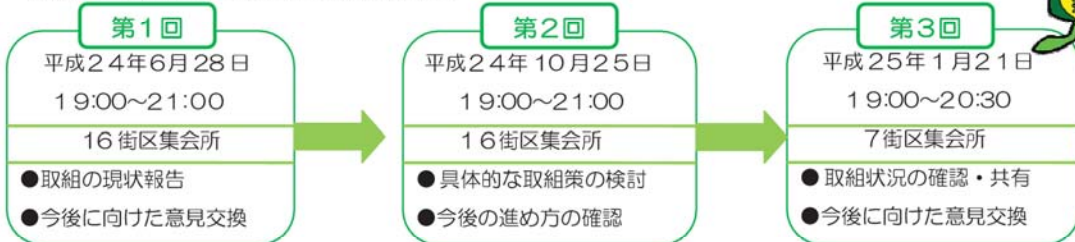
その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。十日市場団地地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「十日市場団地地区別計画」を策定しました。

十日市場団地地区 地区別計画目標

団結して地域の「つながり」を作っていこう！

平成24年度の取組状況

<地区別計画推進委員会開催状況>



<検討内容>

『「地域のつながりづくり」に向けて地域で連携して、検討を進めていく』ことを確認し、次の2点を進めることとしました。

自治会との連携・情報共有の推進

○自治会とのさらなる連携により、情報共有を推進するとともに地区別計画の担い手を増やすことで、取組の輪を広げていきます。

プロジェクトチームによる検討！

○プロジェクトチームを立ち上げ、イベント実施や身近な交流の場づくりなどを検討しながら幅広いつながりづくりへつなげていきます。

